

令和6年10月25日

会 議 録

審議会等の名称	第2回函南町食育推進委員会
庶務を担当する所属	健康づくり課
会議の開催の日時	令和6年10月25日(金) 午前・ <span style="border: 1px solid black;">午後</span> 1時30分
会議の開催場所	函南町保健福祉センター 2階 多目的研修室
出席者(職・氏名)	<p>函南町食育推進委員 11名            委員長 佐藤 聡彦            委員 田村 美和子 河内 妙子                  渡邊 仁美 戸田 公子                  加藤 明美 野藤 清美                  赤堀 摩弥 梅原 宏幸                  櫻井 凧彩 二藤 光</p> <p>グループワークメンバー 4名            福祉課 太田 真矢            地域包括支援センター 小島 諒子            子育て交流センター 原賀 佳子            湯〜トピアかなみ 久保田 晃央            事務局 厚生部長 大沼 裕幸                  健康づくり課長 西川 公次                  健康づくり課長補佐 田中 涼子                  健康づくり課管理栄養士 羽入 桃花                  健康づくり課管理栄養士 二宮 陽子</p>
議 題	<p>(1) 災害時の食の備えに関する普及啓発について            (2) 函南町の食育課題について            (3) グループ「食育課題への対策」</p>
審 議 内 容	<p>(1) 災害時の食の備えに関する普及啓発について            ・今年度、第4次函南町食育推進計画が策定され、新たに「災害時の食の備えに関する普及啓発」が主な取組に追加された。            ・健康づくり課の災害時の食の備えに関する取組紹介            ①親子食育教室で災害食の講話、調理実習、試食を実施            ②広報かなみ9月号で災害食について掲載            ③食生活改善推進員に災害食の講話、調理実習、試食を実施</p>

審 議 内 容

(2) 函南町の食育課題について

- ・ 1つ目は肥満。小中学生では県と比較すると多い。30歳未満から70歳以上の方のBMIでは、約2割の方が肥満に該当している。肥満に関する食育事業は少ないため、今後多く展開していく必要がある。
- ・ 2つ目は孤食。孤食は、一人で食事をするを言うが、5歳児から高校生ではこども一人で朝食を食べる割合が高い。20歳以上の方でも地域や職場等の食事会への参加意欲も低い。今後共食の機会の提供や事業を多く展開する必要がある。

< 質疑応答 >

教育次長 こども一人で朝食を食べる割合では、現状値の割合に対して、目標値が下がっているのはなぜか。

事務局 こども一人で朝食を食べる割合を示しているため、減少することを目的としている。

< 異議なく承認 >

(3) グループワーク「食育課題への対策」

【幼児期】

① 災害時に備えた食育事業

1. 幼児の嗜好からの食材選択によるローリングストックの推奨
2. 災害模擬体験会、災害時の食事体験
3. アレルギー児に対応した備蓄食品の公的ストック
4. 親子災害食クッキング、防災ピクニック（アウトドア調理）

② 肥満予防の食育事業

1. おやつの大切さ、おやつの意義について啓発
2. 親子体操教室
3. 保護者の方に向けた食育指導（正しい食習慣や生活リズムについて）
4. 子育て支援センターで健康クイズ大会の開催（○×クイズで、迷路方式で進んでいく）

③ 共食の推進の食育事業

1. こども食堂の充実
2. 給食参観の際に、共食について啓発
3. 時短料理について情報発信→共食する時間の確保につなげる
4. 家族の食事の日（週1回）の実施
5. 親子での共食体験・地域での共食体験
6. パパさん料理教室

	<p><b>【学童期～思春期】</b></p> <p>①災害時に備えた食育事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. パッククッキング実習（学校）、キャンプ飯講座、災害食に関する講話</li> <li>2. 炊き出し訓練・試食会、避難所の食に関するマニュアル作成</li> </ol> <p>②肥満予防の食育事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「かっこいいスタイル講座」→美しい姿勢や歩き方、1日に必要なエネルギー量（食品サンプルで展示）、体を作る食事について 地場野菜マシマシ→地元野菜の摂取を増やす</li> <li>2. 正しい食習慣や生活リズム、間食や夜食、コンビニでの食品の選び方について情報発信</li> </ol> <p>③共食の推進の食育事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保護者の方に向けた共食の利点の啓発</li> </ol> <p><b>【青年期～高齢期】</b></p> <p>①災害時に備えた食育事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄食品やパッククッキングについて既存の事業で講話</li> <li>・介護資料を送付する際、災害食に関するチラシを同封する</li> <li>・本庁やスーパーなどで、災害食のポップや防災コーナーを設置する</li> </ul> </li> <li>2. パッククッキングレシピの募集、調理実習</li> </ol> <p>②肥満予防の食育事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜摂取や間食、正しい食習慣について講話、SNSで情報発信</li> <li>・運動と栄養講話を組み合わせた事業開催</li> <li>・料理教室の開催（一人暮らしの方対象）</li> <li>・地域ケア会議（高齢者の個別ケース検討会）で食に関する問題を抽出し、課題解決を図る</li> </ul> </li> <li>2. 湯～トピアかなみで提供するメニューの考案、提供</li> </ol> <p>③共食の推進の食育事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域での出前講座、食事会</li> <li>2. 健康栄養相談会の開催→共食について情報発信</li> <li>3. こども食堂の充実</li> </ol> <p>&lt;異議なく承認&gt;</p>
備	考